

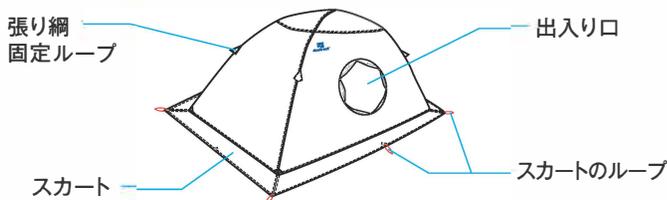
警告 「死亡」もしくは「重傷」を負うことが想定される内容です。

- 一酸化炭素中毒・酸欠・火災の恐れがあります。絶対にテント内で火気を使用しないでください。
- 酸欠の恐れがあります。フライ全体が雪に覆われないよう除雪に心がけ、ベンチレーターは常に開けて換気を行ってください。
- 防水性能はありません。雨や水分の多い雪が想定される環境ではテント本体に付属のフライシートをご使用ください。

製品の特長

- ◆保温性と耐風性を向上させる積雪環境専用のフライシートです。
- ◆吹き流し式の入口を備え、出入り時に雪の侵入を防ぎます。
- ◆スカート部分が内側にも伸び、テントインナー自体でスカートを押さえるため、保温性・耐風性を向上させます。
- ◆テントインナーから独立した張り綱固定ループを備えているため、冷気の吹きこみを抑制し、保温性に優れています。

各部の名称とスペック



◆カミナドーム1 スノーフライ

総重量:740g(収納袋込み)
素材:ナイロン100%(40d 66ナイロンリップストップ)

◆カミナドーム2 スノーフライ

総重量:850g(収納袋込み)
素材:ナイロン100%(40d 66ナイロンリップストップ)

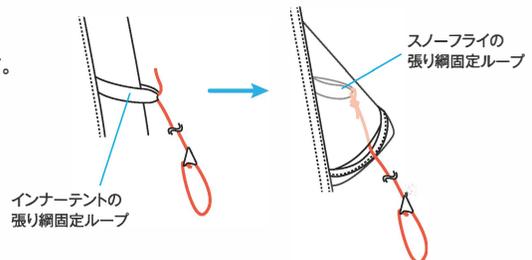
使用方法

【事前に行うこと】 張り綱の付替え

カミナドームのインナーの張り綱を外し、スノーフライの張り綱固定ループに取り付けます。
※この作業はフィールドに出る前に予め行ってください。

①テント本体を組み立てる

テント本体の取扱説明書に従って、テントを設営してください。
(※テント本体のフライシートは取りつけないでください)



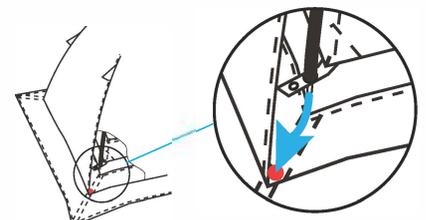
②スノーフライとテントインナーを連結する

テント本体にスノーフライを被せて、入口とベンチレーターの位置を合わせます。
スノーフライの内側に4箇所あるジョイント部を、テントインナーの張り綱固定ループに、それぞれ取り付けます。



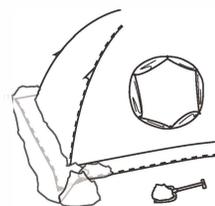
③ボールの取り付け

スノーフライの4隅にあるグロメットに、内側からボール末端を差し込み、スノーフライを固定します。



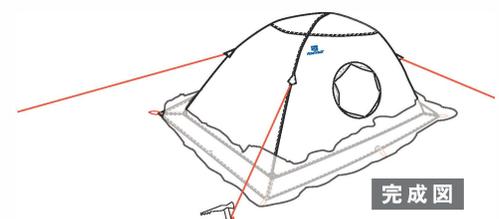
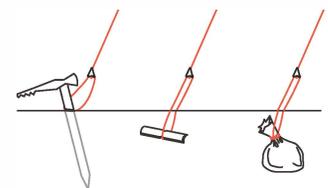
④スノーフライを固定する

スカートのループにベグやピッケルなどをさして固定します。
その後、スカート部分に雪を盛ります。この時、アイゼンなどでスカートを踏まないように気をつけてください。



⑤張り綱を固定する

ベグや竹ベグ、袋、スキー板、ピッケルなどを用いて張り綱を固定します。
ベグ、もしくは竹ベグは、横向き、もしくはクロスにして雪に埋めます。袋は中に雪などを入れて雪に埋めます。
スキー板、ピッケルは張り綱に結び、雪にさしてください。



注意事項

- 汚れは真水で落とし、陰干しで充分乾燥させてから保管してください。
- 汚れや水が付着したまま放置しますと、生地の変質や色落ち、異臭、カビの原因になります。
- ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。